

国民年金へ加入するとしないとでは受ける年金がこんなに違います

事故の種類	国民年金に加入した妻	国民年金に加入しない妻
年をとったとき	妻の老齢年金(年)	夫の老齢年金
老齢年金を受けている夫が死亡したとき	夫の老齢年金の加給年金(厚生)	夫の老齢年金
身体障害者になつたとき	遺族年金(夫の半額)	妻の障害年金(国年)
夫が死んで子孫もいるとき	母子年金(国年)	遺族年金(夫の半額)
夫が死んで子孫もいなないとき	遺族年金(厚年)	遺族年金(厚年)
子をのこして死亡したとき	遺児年金(国年)	遺族年金(夫の半額)

第一期納入期限の月です。
九月分までの保険料をまだ
納めていないかたは、忘れず
に納めましょう。また、十月
から三ヶ月分の納定期限は、十
二月末日です。

しかし、納期ごとに納める
のがめんどくなったり、農家
のかたのように収穫期にまと
めた収入があるかたたちの
ため、保険料をまとめて納める
「前納制度」があります。

この前納制度を利用すると
この前納制度と同じ五

定期預金などの利息と同じ五

年をとったとき

江戸川柳も文化・文政

的になっていったが、それ

にも拘らず、笑いの要素が

褪せて、その底に一抹のペ

ーツを漂わせるような句

も生れている。

●離縁して半骨青く

箇箇跡(一一六五)

右の句などは、その一例

であって、離縁された嫁の

実家の者が運び去った箇箇

の跡の半骨だけが、他の骨

とは異なって、くつきり青

く見えるのが印象的であ

る。

この箇箇跡の跡の骨の青さ

には、新婚時代の甘い想い

も生れている。

●天保となると、次第に狂句

の間に妻との間に起

こった悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇ってくることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇ってくることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇ってくることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇ってくることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇ってくることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽

死なれた男の乳實いの句に

は、いつながらものがあり、

その青い半骨と黄に変色し

た周囲の疊との対比は、新

婚当時から今までに至る時

間の推移を無言のうちに語

り、その間に妻との間に起

こつた悲喜交々の思い出

が、夫の脳裡にまさざきと

蘇てくれることであろう。

だが、今となつては、楽